



河谷 史郎

建築構工法技術で、住宅産業のフロンティアを創造しませんか！

「売れる住宅システム」に関する研究会

RC-75

1. 代表幹事

河谷史郎（東京大学 生産技術研究所 特任教授）

連絡先

河谷史郎

Tel :03-5452-6875

e-mail:kawatani@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

住宅産業が進むべき方向性を検討するにあたり、少子高齢化、環境制約、経済社会の変化への対応など、時代が求める数々の新しいニーズへの対応が求められており住宅産業の将来性や可能性の提示が肝要である。経済産業省では今後の住宅産業のあり方として、住宅の長期使用対策と省エネルギー対策と並んで、変化する住まい手とその感性、ライフスタイル、住生活ニーズに能動的に対応することを指針に挙げている。しかしながら、住宅着工件数が甚だしく低下している状況の中で、産業としてのフロンティアを拓くには、行政による政策対応だけでは不十分なことは言うまでもない。

このような状況を改善するのに、大学と産業界が協働し、双方の知恵と資源を有効活用して、国の基幹産業である住宅産業の活性化を目指した共同研究会を立ち上げることにした。

研究内容は「垂直方向の計画要素を組み込んだ集合住宅システムの提案」である。本研究会では、大学研究者と住宅産業関連企業が協力し合い、最新の構工法技術を駆使した新しい時代の設計・施工について、実践的な研究と活動を実施することにより、「売れる住宅システム」の構築を目指すこととする。

3. その他

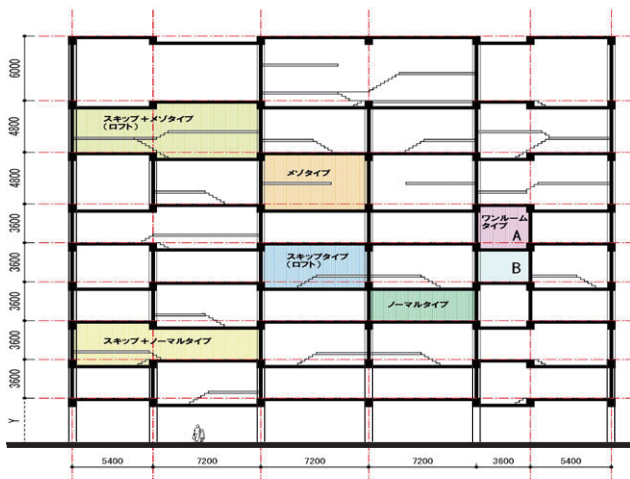
年会費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：年会費10万円

定員：1～30社

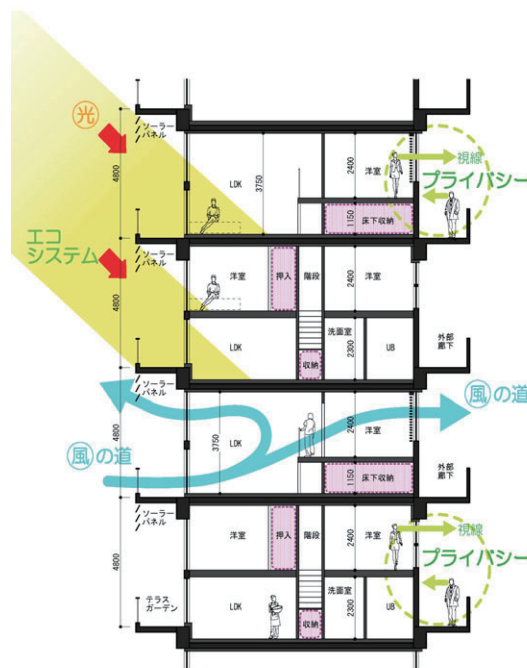
運営方法：1) 運営委員会／大学と幹事会社5社程度で、運営委員会を年3回程度開催し、基本的な運営方法を策定する。

2) 部会／部会を作り、テーマに沿った研究会を月1回程度開催する。

3) プロジェクト対応／実際の設計・施工監理を共同研究企業と契約し、進めていく。



異なる空間ボリュームを持つ居室の豊かなバリエーション



階高4.8mの断面構成